

平成27年

災 害 の 記 錄

鹿 児 島 県



## はじめに

平成27年中の災害による本県の被害額は、約211億円となりました。

主なものとしては、6月23日から26日にかけて梅雨前線の活動の活発化に伴う大雨や、7月20日から22日にかけて湿った気流の影響による大雨により公共土木施設等に甚大な被害が生じました。

さらに、8月24日から25日にかけて接近した台風第15号の影響により農林水産業施設等に甚大な被害が生じました。

火山災害においては、5月29日に口永良部島新岳で爆発的噴火が発生し、気象庁の噴火警戒レベル導入後、全国で初めて噴火警戒レベルが5に引き上げられました。また、桜島においても火山活動が活発化し、一時噴火警戒レベルが4に引き上げられたほか、年間737回の爆発が発生し、降灰による農作物への被害額は、約64億円に上りました。

自然災害による被害を受けやすい本県においては、防災対策を県政の重要課題のひとつとして平成20年4月に施行した「県防災対策基本条例」に基づき、県民が自らの身は自ら守る「自助」、地域の住民がお互いに助け合って地域の安全を確保する「共助」、市町村、県及び防災関係機関が行う「公助」を基本として、各主体がそれぞれの役割と責任のもとに連携・共同して防災対策を着実に行うこととし、各般にわたる様々な施策の積極的な推進に取り組んでいるところです。

今後とも県民の生命、財産を守るために、市町村や防災関係機関等と緊密な連携を図りながら災害の未然防止に万全を期して参りたいと考えています。

ここに、平成27年中に県内で発生した災害を収録しましたので、今後の防災対策の参考にしていただければ幸いです。

最後に本誌の編集に当たり、御協力いただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

平成29年3月

鹿児島県危機管理局危機管理防災課長 大竹 俊光

## 目 次

第1 災害の概況	• • • • 1
第2 被害総括表	• • • • 2
第3 降雨災害	
1 2月22日の洪水	• • • • 7
2 4月20日の大雨・洪水	• • • • 11
3 4月28日～29日の降雨	• • • • 16
4 4月30日～5月1日の大雨・洪水	• • • • 21
5 5月15日～16日の大雨・洪水	• • • • 29
6 5月28日の降雨	• • • • 36
7 6月2日の降雨	• • • • 39
8 6月3日の大雨・洪水	• • • • 42
9 6月5日の大雨・洪水	• • • • 47
10 6月6日の降雨	• • • • 51
11 6月7日～8日の大雨・洪水	• • • • 54
12 6月9日の大雨・洪水	• • • • 61
13 6月10日～12日の大雨・洪水	• • • • 66
14 6月13日の大雨・洪水	• • • • 75
15 6月14日の大雨・洪水	• • • • 80
16 6月15日～16日の大雨・洪水	• • • • 86
17 6月17日～18日の大雨・洪水	• • • • 93
18 6月19日の大雨・洪水	• • • • 100
19 6月23日～26日の大雨・洪水	• • • • 104
20 6月27日の降雨	• • • • 116
21 6月28日の降雨	• • • • 121
22 6月29日～30日の大雨・洪水	• • • • 124
23 7月1日～4日の大雨・洪水	• • • • 130
24 7月6日の大雨・洪水	• • • • 140
25 7月12日～14日の降雨	• • • • 146
26 7月20日～22日の大雨・洪水	• • • • 154
27 7月27日の大雨・洪水	• • • • 165
28 8月9日の大雨・洪水	• • • • 170
29 8月15日～16日の降雨	• • • • 174
30 8月17日の大雨・洪水	• • • • 180
31 8月29日の大雨・洪水	• • • • 184
32 8月31日～9月1日の大雨・洪水	• • • • 191
33 9月6日の大雨・洪水	• • • • 198

34	9月8日の大雨・洪水	204
35	9月17日の大雨・洪水	208
36	9月30日の大雨・洪水	213
37	11月9日の大雨・洪水	218
38	11月17日の大雨・洪水	221
39	11月17日～18日の大雨・洪水	225
40	11月18日の大雨	232
41	12月10日の大雨・洪水	237
42	12月11日の降雨	242
43	12月23日の降雨	247

#### 第4 台風災害

1	5月12日の台風第6号	251
2	7月9日～10日の台風第9号	260
3	7月25日～26日の台風第12号	272
4	8月24日～25日の台風第15号	285

#### 第5 地震・津波災害

1	5月22日の地震	301
2	9月17日の津波注意報	303
3	10月3日の地震	304
4	11月14日の地震	305

#### 第6 その他災害

1	2月10日の霜害	307
2	2月14日の霜害	311
3	4月6日の落雷	315
4	4月11日の落雷	320
5	4月14日の雹害	324
6	9月2日の落雷	328
7	12月3日の突風	332
8	6月16日～の地すべり	335
9	6月24日、7月5日、7月28日の土石流	336

#### 第7 火山の活動状況及び被害状況

1	桜島	337
2	霧島山（新燃岳、御鉢、えびの高原（硫黄山））	355
3	薩摩硫黄島	362
4	口永良部島	363
5	諏訪之瀬島	371

## 第8 参考資料

1	平成27年災害気象名別被害額一覧表	375
2	平成27年災害年報	376
3	平成27年局地激甚災害指定	382
4	平成27年警報発令状況	383
5	平成27年地震発生状況	391
6	平成27年火山情報発表状況	392
7	平成27年避難勧告等発令状況	393
8	平成27年台風発生状況（台風の発生数と接近・上陸数）	394
9	平成27年火災発生状況	397
10	平成27年出火原因別火災件数	398
11	鹿児島県におけるプロパンガス事故の発生状況	399
12	噴火警戒レベルとは	401

## 平成 27 年の鹿児島県内の天気の特徴

1月上旬は、冬型の気圧配置となることが多く、強い寒気の流れ込みで山地を中心に雪が降った。中旬から下旬は、周期的に天気が変化し、前線を伴った低気圧が九州南部付近を通過した 15 日は鹿児島市で日最大 1 時間降水量 34.0 ミリを観測し、1 月の極値を更新した。低気圧の影響で 26 日は鹿児島市喜入で日降水量 89.0 ミリ、日最大 1 時間降水量 28.5 ミリを観測し、1 月の極値を更新した。奄美地方は雨が少なく、沖永良部の月雨量 7.5 ミリは 1 月として少ない方からの極値を更新した。

2 月上旬は、冬型の気圧配置となる日が多かった。中旬は、高気圧と低気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変化した。下旬は低気圧が九州南部付近を通過した 22 日には薩摩川内市上甑町中甑で 79.0 ミリ、26 日には屋久島で 58.5 ミリ、の日降水量を観測した。奄美地方は降水量がかなり少なく、奄美市名瀬の月雨量 46.5 ミリは 2 月として少ない方からの極値を更新した。

3 月上旬は、天気が数日の周期で変化し、9 日は発達した低気圧の影響で種子島では日最大風速 23.9m/s を観測し、3 月の極値を更新した。中旬は、高気圧に覆われて晴れたが、後半は前線や南からの暖気の影響を受けて曇りや雨の日が多くなった。15 日には奄美市名瀬で 64.5 ミリ、16 日には十島村小宝島で 66.5 ミリの日降水量を観測した。下旬は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。21 日には鹿児島でソメイヨシノ開花（平年より 5 日早く、昨年より 1 日遅い）、31 日は満開（平年より 4 日早く、昨年と同日）を観測した。

4 月上旬から中旬は、低気圧や前線の影響を受け、曇りや雨の日が多く、12 日には奄美市古仁屋で 109.0 ミリの日降水量を観測した。14 日は鹿児島市でひょうを観測した。下旬は低気圧や前線の影響で曇りや雨となり、30 日に肝付町内之浦で 128.5 ミリの日最大 1 時間雨量を観測し、4 月の極値を更新した。同地点では日降水量 406.5 ミリを観測し、年間の極値を更新した。その他、志布志市で日最大 1 時間降水量 67.0 ミリと 日降水量 149.0 ミリを観測し、4 月の極値を更新した。

5 月上旬は低気圧と高気圧が交互に通過して、天気は数日の周期で変化した。1 日に肝付町内之浦で日最大 1 時間降水量 52.0 ミリを観測し、5 月の極値を更新した。中旬は、奄美地方は台風第 6 号の影響を受けて大荒れの天気となり、12 日は奄美市笠利町で日最大風速 30.9m/s を観測し、5 月の極値を更新した。15 日は枕崎市で日降水量 177.5 ミリを観測し、5 月の極値を更新した。同日の日最大 1 時間降水量は枕崎市で 61.5 ミリ、鹿屋市で 47.0 ミリで 5 月の極値を更新した。奄美地方は 19 日ごろに梅雨入り（平年より 8 日遅く、昨年より 14 日遅い）したとみられる。下旬は晴れた日が多くなったが、23 日は十島村中之島で 171.5 ミリ、24 日は与論島で 141.5 ミリの日降水量を観測した。

6 月は上旬から下旬にかけて、梅雨前線が九州南部から奄美付近に停滞し、活発化した。九州南部では、2 日ごろに梅雨入り（平年より 2 日遅く、昨年と同日）したとみられる。3 日には、さつま町紫尾山 193.0 ミリ、11 日には霧島市牧之原で 165.0 ミリの日降水量を観

測した。沖永良部では19日の日最大1時間降水量が101.0ミリとなり、年間の極値を更新した。また、同地点の日降水量は196.0ミリで6月の極値を更新した。25日には種子島で日降水量317.0ミリを観測し、6月の極値を更新した。同日の日降水量は鹿児島市で160.0ミリ、指宿市で193.5ミリ、中種子町で329.0ミリを観測した。29日には伊仙町で390.0ミリの日降水量を観測し、6月の極値を更新した。鹿児島市の6月の月降水量は1300.5ミリとなり、年間の極値を更新した。その他の月降水量は枕崎市で1286.5ミリ、種子島で1148.0ミリと6月の極値を更新した。

7月上旬は、梅雨前線が九州南岸に停滞し、大雨となった。10日は、台風第9号の影響を受けた奄美地方は荒れた天気となった。中旬は太平洋高気圧に覆われて奄美地方は15日（平年より16日遅く、昨年より11日遅い）に、九州南部は17日（平年より3日遅く、昨年より1日遅い）に梅雨明けを発表した。下旬は、湿った気流の影響で20日に屋久島町尾之間で318.0ミリの日降水量を観測した。21日には十島村中之島で日降水量310.5ミリを観測し、7月の極値を更新した。また日最大1時間降水量は21日に十島村中之島で71.5ミリ、22日に枕崎市で72.5ミリを観測し、7月の極値を更新した。その後、台風第12号の影響で25日には伊仙町で日最大1時間雨量114.5ミリを観測し、年間の極値を更新した。26日には奄美市笠利町で日最大風速31.6m/sを観測し、7月の極値を更新した。さらに27日には肝付町内之浦で日降水量294.5ミリを観測し、7月の極値を更新した。

8月上旬は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かった。中旬は前線や湿った気流の影響で16日に十島村宝島で115ミリ、17日には、南大隅町佐多で117.5ミリの日降水量を観測した。下旬は、25日に熊本県荒尾市付近に上陸した台風第15号の影響を受け、大荒れの天気となった。24日の日最大風速は十島村中之島で23.4m/s、25日には、薩摩川内市で25.4m/sを観測し、8月の極値を更新した。日最大1時間降水量は24日に南種子町上中で61.0ミリ、25日に薩摩川内市上甑町中甑で89.0ミリ、29日に阿久根市で96.5ミリ、さつま町紫尾山で75.5ミリを観測し、8月の極値を更新した。25日には薩摩川内市上甑町中甑で189.0ミリの日降水量を観測し、8月の極値を更新した。

9月上旬は、前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多く、6日は鹿屋市146.5ミリ、屋久島で207.0mmの日降水量を観測した。また同日の日最大1時間降水量は鹿児島市喜入で82.0ミリ、鹿屋市で75.5ミリを観測し、9月の極値を更新したほか、鹿児島市喜入では年間の極値も更新した。中旬は、高気圧に覆われて概ね晴れた。下旬は、沖縄の南海上にあった台風第21号からの湿った気流の影響を受け、曇りや雨となった日が多かった。

10月上旬は、前線や湿った気流の影響で曇りや雨となり、1日には伊佐市大口で64.5ミリ、さつま町紫尾山で58.0ミリの日降水量を観測した。中旬から下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、奄美地方では前線や湿った気流の影響で、曇りや雨の日があった。

11月上旬は、低気圧や前線、湿った気流の影響で曇りや雨となった日が多かった。中旬は、天気は数日の周期で変わり、17日には天城町で121.5ミリ、18日に伊佐市大口で137.0ミリの日降水量を観測し、11月の極値を更新した。天城町では17日に78.0ミリの日最大

1時間降水量を観測し、年間の極値を更新した。その他、薩摩川内市上甑町中甑で58.0ミリ、18日には鹿屋市輝北で47.5ミリの日最大1時間降水量を観測し、11月の極値を更新した。下旬は、前線や湿った気流、寒気の影響で曇りや雨の日が多く、27日は桜島で初冠雪（平年より18日早く、昨年より8日早い）を観測した。

12月上旬は、数日の周期で天気が変化し、10日は低気圧が発達しながら九州南部を通過したため、薩摩川内市八重山で179.0ミリ、日置市東市来で152.0ミリの日降水量を観測し、12月の極値を更新した。同日、鹿児島市で日最大1時間降水量53.5ミリ、24時間降水量128.0ミリと12月の極値を更新した。中旬は気圧の谷や湿った気流及び寒気の影響を受けて曇りや雨の日が多くなった。18日には鹿児島市では初霜（平年より8日遅く、昨年より11日遅い）と初氷（平年より5日遅く、昨年より11日遅い）を観測した。下旬は奄美地方では曇りや雨の日が多く、23日は十島村中之島で123.5ミリの日降水量を観測した。

1年間の平均気温は、阿久根市17.4度（平年+0.2）、鹿児島市18.8度（平年+0.2）、枕崎18.4度（平年+0.3）、屋久島19.7度（平年+0.3）、種子島19.7度（平年+0.1）、奄美市名瀬は22.1度（平年+0.5）と、平年を上回った。

年間降水量は、阿久根市2833.5ミリ（平年比138%）、鹿児島市3663.5ミリ（平年比148%）、枕崎市3897.5ミリ（平年比179%）、屋久島5157.0ミリ（平年比115%）、種子島3570.0ミリ（平年比152%）、奄美市名瀬2642.0ミリ（平年比93%）と県本土は平年を大きく上回った。

年間の日照時間は、阿久根市1832.3時間（平年比94%）、鹿児島市1778.2時間（平年比92%）、枕崎市1711.2時間（平年比89%）、屋久島1294.9時間（平年比87%）、種子島1569.9時間（平年比87%）、奄美市名瀬は1279.3時間（平年比95%）で全般に平年より少なかった。



## 第1 災害の概況

### ○ 降雨災害

雨による被害が公共土木施設や農林水産業を中心に発生した。被害額は約67億5千円となり、年間被害総額の約32%であった。

### ○ 台風災害

平成27年中には、上陸はなかったものの、4個の台風が本県に接近し、被害をもたらした。8月24日から8月25日にかけて接近した台風第15号は、県全体に被害をもたらし、被害額は約67億7千万円となった。

また、台風災害による年間被害額は約77億1千万円であり、年間被害総額の約37%であった。

### ○ 地震・津波災害

5月22日に奄美地方で最大震度5弱を観測する地震が発生し、公共施設に被害が発生したほか、10月3日、11月14日に薩摩地方で最大震度4を観測する地震が発生した。

また、9月17日には、チリ中部で発生した地震により、県内に津波注意報が発表され、南大隅町で高さ20cmの津波を観測した。

### ○ その他の災害

平成27年中は、落雷や寒害などにより農作物等を中心に被害が発生した。また、地震による被害等を含め、被害額は、約2億7千万円となった。

### ○ 火山災害

桜島の降灰により、野菜等の農作物に被害をもたらし、被害額は約63億9千万円となり、年間被害総額の約30%であった。

### ◆ 災害種別被害額

平成27年被害総額 21,119,106千円

種類	被害額(千円)
降雨災害	6,745,082
台風災害	7,712,465
地震・津波災害	312
その他災害	265,888
火山災害	6,395,359
合計	21,119,106千円

### ◆ 平成27年の梅雨時期

鹿児島地方  
種子島・屋久島地方 } 6月2日ごろ～7月14日ごろ  
(6月2日ごろ～7月16日ごろ)

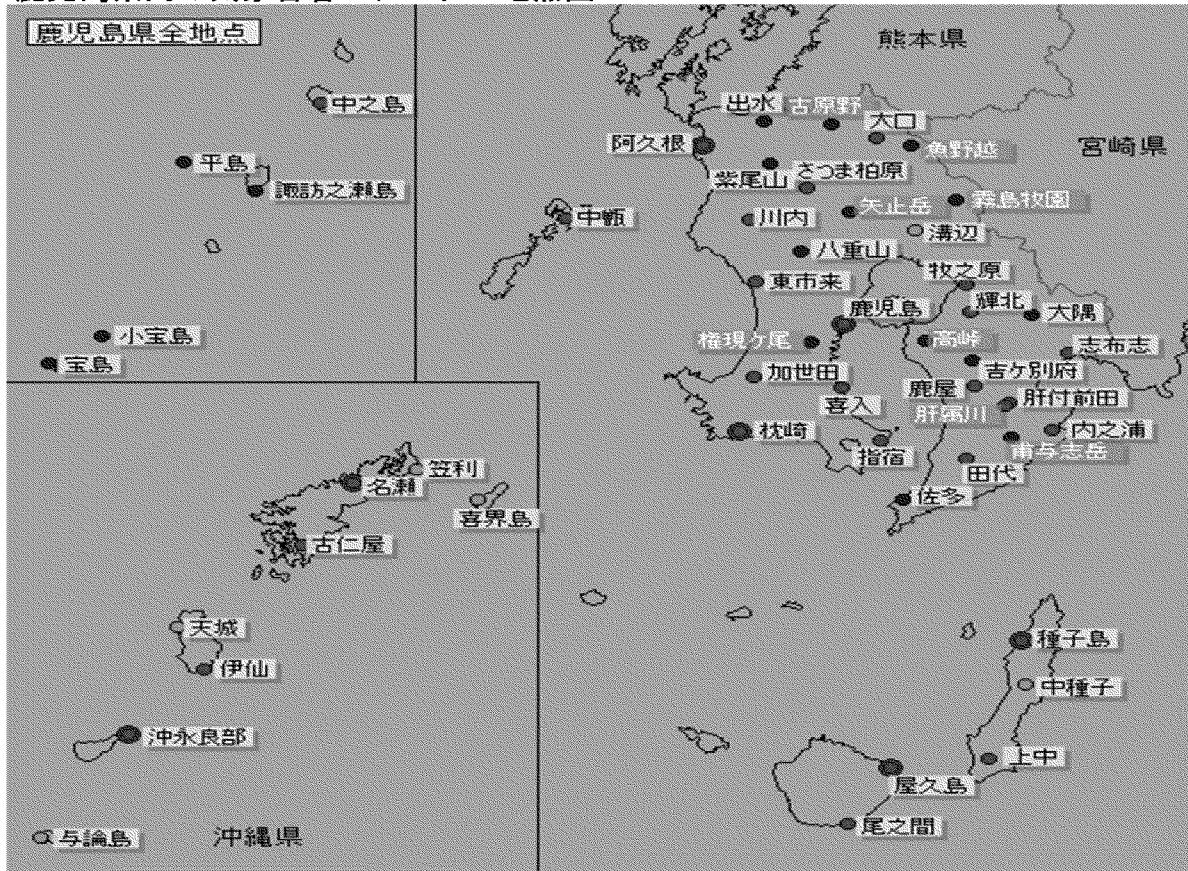
奄美地方 5月19日ごろ～7月6日ごろ  
(5月5日ごろ～7月4日ごろ)  
※( )内は、平成26年の梅雨時期

第2 被害総括表

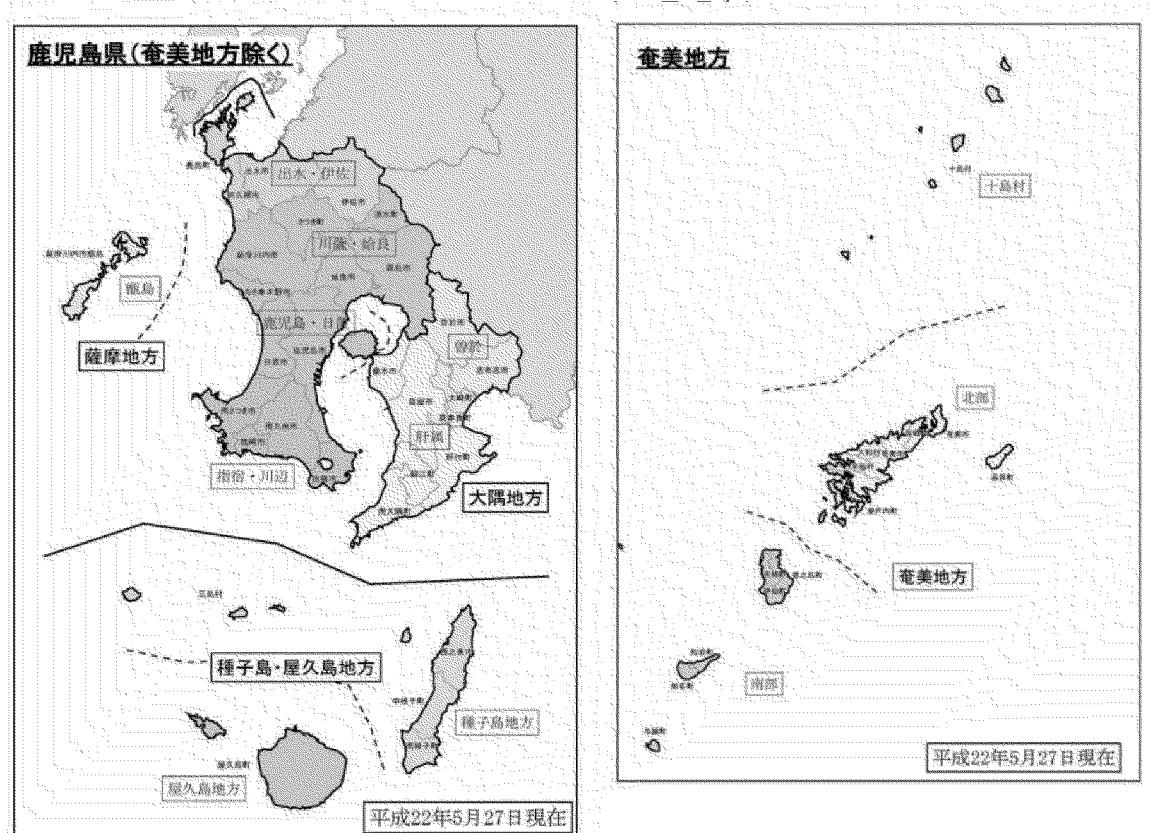
区分		被害数	単位	被害額(千円)	区分		被害数	単位	被害額(千円)
人 的 被 害	死 者		人		衛 生 福 祉 関 係 の 被 害	病院・診療所等	14	棟	22,137
	行 方 不 明		人			水道施設	1	箇所	301
	重 傷 者	3	人			清掃施設		〃	
	軽 傷 者	21	人			福祉施設	23	〃	67,711
	合 計	24	人			その他	3	〃	668
	全 壊	棟 数	12 棟			合 計	41	〃	90,817
	半 壊	世帯数	13 世帯			水 陸 稲	941.40	ha	26,668
	人 員	32	人			麦 類		〃	
	一 部 破 損	棟 数	95 棟			雜穀いも豆類	1,455.40	〃	14,148
	床 上 浸 水	世帯数	99 世帯			野 菜	1,460.15	〃	3,429,189
家 の 被 害	人 員	189	人			果 実	699.20	〃	560,695
	棟 数	1,624 棟				工芸作物	26,885.20	〃	549,459
	世帯数	1,612 世帯				飼料用作物	454.30	〃	932,933
	人 員	3,096 人				花 き	12.50	〃	460,680
	棟 数	19 棟				桑		〃	
	世帯数	18 世帯				茶	0.07	〃	1,388,521
	人 員	34 人				樹 体		〃	
	棟 数	199 棟				其 の 他	18.00	〃	110,707
	世帯数	214 世帯				合 計	31,926.22	〃	7,472,999
	人 員	346 人			耕 地	田	263 箇所		
非 住 家 の 被 害	棟 数	1,949 棟				(流出埋没)	61.30 ha		333,900
	世帯数	1,956 世帯				畠	300 箇所		
	人 員	3,697 人				(流出埋没)	44.90 ha		335,600
	合 計				農 業 用 施 設 被 害	ため池		箇所	
	棟 数					頭首工	2	〃	33,000
	全 壊			48 棟		水路	242	〃	529,000
	半 壊					道 路	242	〃	513,900
	棟 数					橋りょう		〃	
	全 壊			963 棟		農地保全		〃	
	半 壊					揚水機		〃	
	棟 数					其 の 他		〃	
	全 壊					合 計	1,049	〃	1,745,400
	半 壊					家畜等の被害	2		924

区分		被害数	単位	被害額(千円)	区分		被害数	単位	被害額(千円)	
農業生産用資材施設	耕種関係	15	棟	31,215	土木関係の被 害	国庫負担	県工事	3	箇所	45,635
	畜産関係	401	"	557,879		省港湾	市町村	2	"	1,131,580
	蚕糸関係		"				小計	5	"	1,177,215
	園芸関係	1,059	"	343,783		農水省漁港	県工事	15	"	160,491
	その他	15	"	6,364			市町村	3	"	157,675
	合計	1,490	"	939,241			小計	18	"	318,166
水産関係の被 害	漁船	218	隻	38,710	合計		365	"	5,411,965	
	漁具		統		その他		1,241	"	782,589	
	施設その他	50	件	187,904	総計		1,606	"	6,194,554	
	合計			226,614						
鉱工業関係被害					学校関係の被 害	高等学校	56	校	132,294	
商業関係の被 害	店舗	368	棟	356,710		中学校	80	"	61,769	
	その他施設	171	件	261,811		小学校	168	"	144,116	
	商品	26	件	20,412		その他	87	"	44,864	
	合計			638,933		合計	391	"	383,043	
山林関係の被 害	林地(崩壊地)	72	箇所	1,311,500	その他の公共施設被害		336	箇所	363,033	
施設等被 害	治山施設	1	"	1,000	鉄道	鉄軌道関係		件		
	林道	36	"	476,703		線路工作物関係		"		
	林産施設	3	"	16,114		停車場工作物関係		"		
	林産物	433.30	ha	1,223,347	関係	機械関係		"		
	合計			3,028,664		建築物関係		"		
土木関係の被 害	国工事	河川	63	箇所	749,115	の被 害	電気通信関係		"	
		砂防		"			合計		"	
		道路	48	"	772,284		電気通信関係被害	0	"	
		急傾斜		"		電力関係被害		0	"	
	通事業	橋りょう		"			水道関係被害	442	戸	
		海岸		"		警察関係の被害		81	件	
		その他		"			交通安全施設の被害	445	"	
		小計	111	"	1,521,399				16,256	
	省管	河川	68	"	623,902	その他		0		
		道路	159	"	1,722,556	崖くずれ		83	箇所	
		橋りょう	1	"	33,177	被 害 総 額				
		その他	3	"	15,550				21,119,106	
	小計	231	"	2,395,185						

## 鹿児島県内の気象官署・アメダス地点図



## 鹿児島県の注意報・警報細分区域 (平成29年3月現在)



## 内容に関する説明

### 1. 雨の降り方の表現

- 1 時間雨量が 30 ミリ以上 50 ミリ未満の場合、「激しい雨」
- 1 時間雨量が 50 ミリ以上 80 ミリ未満の場合、「非常に激しい雨」
- 1 時間雨量が 80 ミリ以上の場合、「猛烈な雨」

また、期間の雨量が 100 ミリ以上を「大雨」という。

### 2. 平年値について

1981年～2010年の平均値を使用している。

### 3. 観測値の極値は2015年までの値。

## 九州南部および奄美の梅雨入りと梅雨明け

年	九州南部		奄美	
	梅雨入り	梅雨明け	梅雨入り	梅雨明け
2000年	5月26日ごろ	7月15日ごろ	5月26日ごろ	6月21日ごろ
2001年	5月21日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	6月23日ごろ
2002年	6月10日ごろ	7月21日ごろ	5月8日ごろ	6月30日ごろ
2003年	6月9日ごろ	7月22日ごろ	5月13日ごろ	6月27日ごろ
2004年	5月29日ごろ	7月11日ごろ	5月14日ごろ	6月24日ごろ
2005年	6月11日ごろ	7月15日ごろ	5月5日ごろ	6月27日ごろ
2006年	5月26日ごろ	7月25日ごろ	5月11日ごろ	6月22日ごろ
2007年	6月1日ごろ	7月18日ごろ	5月26日ごろ	6月28日ごろ
2008年	5月28日ごろ	7月6日ごろ	5月22日ごろ	7月2日ごろ
2009年	6月2日ごろ	7月12日ごろ	5月18日ごろ	7月5日ごろ
2010年	6月12日ごろ	7月20日ごろ	5月6日ごろ	7月15日ごろ
2011年	5月23日ごろ	7月8日ごろ	4月30日ごろ	6月22日ごろ
2012年	5月30日ごろ	7月23日ごろ	5月13日ごろ	6月29日ごろ
2013年	5月27日ごろ	7月8日ごろ	5月10日ごろ	6月29日ごろ
2014年	6月2日ごろ	7月16日ごろ	5月5日ごろ	7月4日ごろ
2015年	6月2日ごろ	7月14日ごろ	5月19日ごろ	7月6日ごろ
平年	5月31日ごろ	7月14日ごろ	5月11日ごろ	6月29日ごろ